

## 第1回平田地域協議会会議録(概要)

日 時 平成17年12月8日(水)午後2時30分~午後4時50分

会 場 平田総合支所 大会議室

### 出席者

|      |       |        |        |       |
|------|-------|--------|--------|-------|
| 1号委員 | 石黒 一喜 | 阿藤 勝   | 丸山 賢治  | 阿部 時男 |
|      | 石黒 均  | 石川 敏行  | 高橋 絹子  | 菅原 律子 |
| 2号委員 | 佐藤 富雄 | 佐藤 きく子 | 太田 美佐子 | 小林 隆逸 |
| 3号委員 | 佐藤 達也 | 富樫 文雄  | 佐藤 良二  |       |

酒田市長 阿部 寿一 企画調整部 地域振興調整監 大瀧 太一

平田総合支所 支所長 佐藤 富雄 地域振興課長 齋藤 啓一

市民福祉課長 石黒 吉春 市民福祉課健康福祉主幹 久松 勝郎

建設課長 鈴木 良寿 産業課長 前田 茂実 教育振興室長 齋藤 善和

教育振興主幹 結城眞理

地域振興課 地域振興主査 佐藤 良広 地域振興係長 後藤 学

企画調整部 企画調整課地域振興室 調整主任 齋藤 徹

### 議事日程

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 酒田市長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 関係職員の紹介
- 6 会長及び副会長の選出
- 7 会長、副会長あいさつ

## 8. 説 明

( 1 ) 地域協議会の設置の趣旨と仕組みについて

## 9. 協 議

( 1 ) 平田地域協議会会議運営規程(案)について

( 2 ) 酒田市地域づくり予算について

( 3 ) 中山間地拠点(仁助新田地区)整備構想について

( 4 ) 地域内振興及び課題について

( 5 ) 会議の持ち方と今後の予定について

1月中旬 第2回協議会

- ・ 旧1市3町のコミュニティ組織の現状について
- ・ 地域づくり課題に関する意見交換

2月上旬 第3回協議会

- ・ 平成18年度予算要求の概要(地域づくり予算)
- ・ 地域づくり課題に関する意見交換

通常は年3回(年度当初、9月頃、2月頃)ほか独自の開催を想定

## 10. その他

## 11. 閉 会

1 開会 ... 進行を務める地域振興課長が開会を宣言する。

2 委嘱状交付

3 酒田市長あいさつ

この度の合併で、地域のバランスのとれた発展のため重要な組織として議論を重ね二つの機関をおいた。一つは、市民の皆さんの意見を市行政に反映をさせるといった今の総合支所だ。

もう一つ、総合支所と並んで位置づけたのが、この地域協議会だ。地域の皆さんの意見を市政に直接間接反映をさせる組織として大きな役割を期待している。

今合併をして役場から市役所、総合支所とあるわけだが、役場との距離があいてきたんじゃないか、というような不安や不満あるのが私は当然だと思っている。

私たちは地域づくりやまちづくりをするものの立場からいうと、市民の夢を一つでも二つでも叶えるために全力を尽くすこと。不安や不満をほとんどゼロに近づけていく努力。これはまちづくりの原点だと思ってる。

皆さんからは、市民の直接的な不安とか不満また夢などを率直に出していただくのがこの会大きな役割の一つだと思ってる。もう一つお願いするのは、行政と市民の皆さんの間をつなぐという役割ということだ。「今、総合支所はこんなことを考えているようだよ」というようなことを幅広く皆さんの周りにいる市民の皆さんにお伝えいただくということ。

これからの地域づくりでは、行政と市民を相対した相手と考えるのではなくて、行政の力を十分に利用しながら地域を良くするパートナーとしての役割を私たち市民一人ひとりが持っていなければならないと思っている。

平田の場合だが、もう少しコミュニティの力を上げていっていただきたいという思いがある。旧酒田では、コミュニティ振興会というものを小学校単位ぐらいである。これには一定程度行政も支援しており、自発的に生涯学習、健康づくり、地域づくりのボランティアとかいろんなものに取り組んでいる。

皆さんと協働することによってきめ細かく行政を展開できる、と同時に皆さんが自覚を持って地域づくりに取り組むことによって地域の良き伝統や文化を、特色を生かし続けられるというメリットもあるのではないかなと思う。この地域のコミュニティの育成も協議会の大きな役割と思っている。

私たちの目的は同じだ。この平田地域が新しい酒田市の中で発展し続けるためにはどうしたらいいのか、アイデアを出しあい知恵を出し合ってまちづくりを進めていくということだ。

ともにいいまちづくりに向っていく、それが酒田全体の発展にもつながっていくというような形でこの協議会を位置づけていきたいと思う。皆さんのお力添えをお願いする。

#### 4 委員紹介 ... 自己紹介

#### 5 関係職員の紹介 ... 自己紹介

#### 6 会長及び副会長の選出

事務局 設置条例で互選となっているが、いかがお取りはからいますか。

委員 委員の最年長者が仮の議長となって、選出するのが良い。

事務局 ただいまのご意見のとおりでよろしいか。

(一同、賛成の声)

事務局 では、最年長者の15番佐藤(良)委員に仮議長をお願いする。

仮議長 選び方についてお諮りする。まず会長を選び、副会長は会長が指名することで如何か。

(一同、賛成の声)

委員 自薦、他薦の方法があるが、推薦を提案する。

仮議長 推薦の方法でよろしいか。

(一同、賛成の声)

仮議長 それでは推薦を願う。

委員 小林委員を推薦する。推薦理由は、一つは合併により議会が無くなり平田地域の振興を図るには区長、公民館には大きな役割がある。また、合併までの2年余り合併協議会の委員としての経験もあり適任と考える。

委員 富樫文雄さんを推薦する。

仮議長 2名の推薦がされたが、どのように決定するか。

委員 無記名の投票を希望する。挙手での決定は避けていただきたい。

仮議長 この意見に皆さん賛同するか。

(一同、異議なしの声)

仮議長 お二方とも選出された場合お引き受けいただけるか。一言お願いする。

小林委員 高く買っていただき感謝申し上げます。合併協議会の委員、区長会の会長としてこれまでの経過をふまえ、皆様のご支持をいただければ全力を尽くしたい。

富樫委員 市民レベルで協働、共労が求められている。少子高齢化社会の中で色んな団体、組織の意見を聴き、集大成をして皆さんと一緒に頑張りたい。

投票に移る、事務局投票作業を行う。投票の結果 小林委員 8 票、富樫委員 7 票

仮議長 投票の結果、小林委員に会長をお願いする。私は降壇させていただく。

小林会長あいさつ 選挙という時代の変わり目を象徴するような選択をいただいた。この協議会についていささかの危惧を持っていたが、このように選挙で決し、皆さんのそれぞれの責任をこの会に付託し、大変良い出発になったと思う。

しかし、この委員会の果たす役割は決して簡単ではないだろうと思う。市長は、すべての市民、住民の意見を最大限に聴いていくと申されたが、旧のまちづくりから新市のまちづくりに変わり、大きな時差と戸惑いなど、我々の職務がそう簡単にまっとうされるものではない。今後とも諮問の事柄、あるいは諮問されないことについても、この会で率直に忌憚なく話していきたい。

山間だけでなく平野平地も含めて農村部の問題は多様多岐であり、そういう意味で皆さん方の特段のご尽力とご協力をお願いする。

(以後、小林会長が議長に就任する。)

議長 副会長は会長の指名で行うことでよろしいか。

(一同、意義無し)

議長 これからのまちづくりを考えたとき、旧平田町の特徴であり県内でも特異な分館制度、公民館のあり方が新酒田市の中でも重要ではないかと考える。そういう意味で公民館連絡協議会から選出された北俣公民館主事の阿部(時)委員を指名する。

阿部副会長あいさつ まだまだ未熟者だが、会長を補佐するという意味で皆さんの絶大なるご協力をいただき務めていきたい。よろしくお願いします。

8 . 説明 ... 事務局より説明がなされる。

( 1 ) 地域協議会の設置の趣旨と仕組みについて

9 . 協議

事務局 本日、時間もだいぶ経過しているので、協議の( 3 )は次回に行うこととする。

( 1 ) 会議運営規程について ... ( 事務局説明の後質疑 )

委 員 傍聴の手続きが示されたが私たちには馴染みが無い。会議の開催を事前に住民へお知らせし、会議では決まった案件の審議をするのか。フリーな意見交換が可能なのか。協議会の設置趣旨から、色んな話を出して良いと考えてきたが、傍聴となると制約された会のようで、責任が大きすぎるのではないか。

事務局 今日第 1 回目で規約など面倒な決め事もあるが、次回以降は地域づくりの課題について意見交換の場を設け、合併に伴う色んなご意見をいただきたい。合併協議会でもそうしたが、今日、会議は公開が原則でそれを定めたものである。会議の案件はその都度事前に皆さんにお知らせする。

議 長 会議運営規程は原案のとおり決定することでよろしいか。

( 一同、異議なし )

( 2 ) 地域づくり予算について ... ( 事務局説明の後質疑・意見交換 )

委 員 これまで企画課から補助されていた「まちづくり推進事業補助金」は、地域づくり予算にないが合併後は無くなるのか。

また 4 年に一度の町民運動会は平田地区として継続するのか。

事務局 まちづくり推進事業は平田町独自の制度で、合併の協議でも調整に努めてきた。17年度は実施済だが18年度は現在予算要求中で、公民館の指定管理者制度導入も含め総合的に方向づけがなされていくものと認識している。

運動会はまさに地域の意見を集約しこの会で将来に向け検討していく必要がある。

新市として、あるいは地域のスポーツ振興のあり方等も含めて議論が必要で、今は課題として受け止める。

委 員 地域づくり予算はソフト事業のようだが、本協議会に諮られるのは地域コミュニティを図る部分のみか。ハード事業はどうなるのか。

事務局 説明不足で申し訳ない。設置条例のとおり、地域協議会の役割として 3 条に建設計

画に関する進行管理などの役目があり、計画したハード事業についてもご意見をいただく。そして2項のとおり、地域づくり予算やコミュニティの育成強化についての意見もいただきたい。また、ここで述べた意見には適切な措置を講じることになっており、本所から一定の回答がされる。

委員 委員としてさまざまな地域の情報にアンテナを高くし、全般を網羅して、全てに渡って検討するのか。

事務局 アンテナを高くし地域の意見をまとめ、この場に持ち寄ることは誠に重要である。合併協議では考えていなかった予想外のことなど、率直にご意見をお願いしたい。

委員 ハードは区長会で、ソフト事業のみをこの会でということではないのか。

事務局 必要に応じ区長会と一度議論した方が良いなど、その都度、団体、組織で議論いただくこともありえる。

委員 これまでハード事業の要望は地域からまとめてあげてきたが、事前に地区と話し合いをしてこの場に持ち寄るのか。まったく自分の判断で発言しても良いのか。道路、河川、治山治水など地域には多くの要望があるが、そのあたりの上げ方はどうすれば良いのか。

事務局 個々の地域の代表としてではなく、平田エリア全体の振興発展のためのご意見をお願いしたい。地元出身の市議会議員への期待も大きいですが、この会で意見をどう受け止めまとめていくかのルールづくりも議論していきたい。声の大きいところが優先されるのではなく、限られた財源の中で有効にこの地域の意見を上げ地域のアップにつながっていくようにお願いする。

委員 地域の要望をこの場に持ってくる時、地区代表としてまとめて持ってくる必要があるのか、それとも個人意見で良いのか。

事務局 地区の要望、状況を一番分かるのは区長の皆さんなので、時には区長会に集約をお願いするなどのルールづくりをしていく。

委員 合併協議会でも経験したが、とても平田町の皆を代表して意見を出すことなどできないことだ。当時、酒田市長に町民代表として多くの意見を聴取るアンテナも必要だが、委員としての意見は個人で良いと言われ、ゆっくりしりした覚えがある。この会でも同じように自由な意見交換が大事である。

議長 進め方に色々な質問があるようだが、決まっているということではなく、みんなで考えながら進んで行くことが大切だ。声を大きくするだけで通るものでもなく、本所でどう

対応するかということもある。ハード事業については、災害を除き合併の財政的背景もあるだろうし、ソフト事業については経過もふまえ地域性を発揮することも重要である。

時間がきたので協議はここで終了する。

#### 10 その他 …（今後の日程について事務局説明の後質疑・意見交換）

委員 助役か総務部長に地域協議会は陳情、圧力団体ではないと言われた。現在、新年度の予算の積み上げ、地域の要求のまとめなどをどのように行っているのか。予算を所管する課がどうするのか、事務的な進め方、考えなどがわからない中では、協議会として断片的な意見交換となってしまう。平田としてこういう予算を考えているなど示していただき議論する必要がある。

議長 市では12月に新年度の骨格が固まるため、その後、2月頃に協議会を行っても、決定したことをおさらいすることになってしまう。支所には予算編成の裁量がどの程度あるのか。

事務局 今年度は11月1日に合併ということで変則的な形であることを理解いただきたい。

予算要求は支所としてこれまでの町の計画により要求している。本協議会における色々な議論を基に、何かあれば手続きを踏んで本所に伝えていく。来年度からは、予算の要求時期などを考慮して本協議会を開催する。

委員 この会は重要な会議であり、仕事の関係などを調整しても会議を欠席したくない。

次回から、会議の開催日時、内容など早めにお知らせ願いたい。

委員（子供たちを巡る管内の犯罪多発に関して情報提供）

#### 11 閉会